

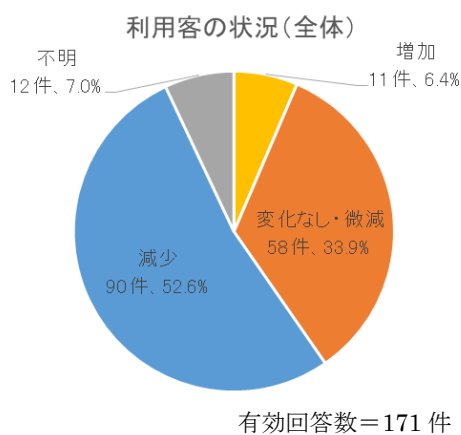
大田区ウェルカムショップ・大田区まちかど観光案内所について

標記事業は、平成23年に蒲田が「訪日外国人旅行者の受入環境整備戦略拠点」に選定されたことを契機として運用を開始。登録店舗・施設は年々増加している。

項目	ウェルカムショップ	まちかど観光案内所
受入対象	外国人、日本人	主に日本人
主な業種	飲食店、小売店、宿泊施設 等	区施設、郵便局、駅 等
箇所数	279 ※まちかどとの重複登録有	357 ※ウェルカムとの重複登録有
機能	さまざまなメニューによる 来訪者の積極的な受け入れ	観光パンフレットの配布 簡単な観光案内

1 全登録店舗・施設を対象とした電話による状況の聞き取り

新型コロナ感染拡大の影響により国内外からの来訪者は激減、これまでとは環境が大きく変化したことから、各店舗・施設における、利用客の状況を把握すると共に、現場の声をお聞きすることを目的として、観光課職員による一斉電話調査を7月末に行った。



- 以前よりも近隣・区内の来訪者が多い印象。(調布地域 販売)
- 自粛期間中は普段と異なるお客様(新たな客層)がテイクアウトしている印象があった。(大森地域 飲食)
- 夜の営業を再開してほしいという要望もあるが、集客を見込めないため再開見込みが立たない。(糀谷・羽田地域 飲食)
- 国のGO TOキャンペーンにあわせて、店舗独自の企画を考えたが、東京除外のため延期した。(蒲田地域 飲食)
- このような聞き取り調査を行ってくれてうれしい。他店舗等の状況や取組内容を情報共有し、参考にしたい。(蒲田地域 飲食)

2 ウェルカムショップ・まちかど観光案内所来訪者受入実態調査の実施

一斉電話調査を深掘りするとともに、マイクロツーリズムに対応した施策展開を検討するため、全登録店舗・施設に対しアンケート調査を行う。

- (1) 実施期間：令和2年10月～11月(予定)
- (2) 主な項目：来訪者受入状況、誘客施策・環境整備状況、新型コロナウイルス感染症による影響、受入対応における課題、必要な支援等(20問程度)
- (3) 実施方法：アンケート調査(全店舗・施設)、ヒアリング調査(一部店舗・施設)